

平成26年度当初予算市長復活査定総括票

(単位:千円)

事業名	25年度現計予算額		26年度当初財政課長内示額						26年度当初財務部長復活内示額						26年度当初予算市長復活要求額						市長復活査定額						頁	行政 経営 計画 査定
	総額	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出額	起債	その他	一般財源		
1 図書館システム再構築事業	0	0	0					0	0					0	0					0	0					0	1	
2								0						0						0						0		
3								0						0						0						0		
4								0						0						0						0		
5								0						0						0						0		
6								0						0						0						0		
7								0						0						0						0		
8								0						0						0						0		
9								0						0						0						0		
10								0						0						0						0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

※行政経営計画査定欄には、「平成26年度行政経営計画に係る事務事業の取組方針(案)について」の政策的査定結果を記入して下さい。

# 平成26年度当初予算 市長復活査定書

別紙2

(目名) 図書館費 (細目名) 図書館運営費 (事業名) 図書館システム再構築事業 (単位: 千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳					
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	
平成24年度決算額	0					0	0						0
平成25年度当初予算額	0					0							0
平成25年度現計予算額	0					0							0
平成26年度当初要求額	0					0	債務負担行為	0千円(平成26年度～平成31年度)					
平成26年度当初財政課長内示額	0					0							
平成26年度財務部長復活内示額	0					0							
平成26年度復活要求額	0					0							

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 貸出管理(利用者個人情報・貸出・返却・予約)、蔵書管理(発注・除籍・所蔵場所等)等の図書館業務の一切を管理するコンピュータシステムの更新事業である。業者決定後の、システム機器準備、ソフトの各種設定に半年の準備期間が必要であるため、26年度の債務負担を行うものである。</p> <p>(概要) 現在使用中の図書館システムは、平成22年度にプロポーザルにより導入したもので、26年度で5年のリース期間が終了する。 現在のシステムは、パソコンと、携帯電話用の利用者向け検索ページを用意しているが、スマートフォンには未対応である。また、館内に秘書広報課が設置している「未知るべ」のOSはWindows2000であり、いつ止まってもおかしくない状況である。 「未知るべ」を廃止し、インターネットが使える利用者用ノートパソコンを追加した、新システムの再構築である。</p> <p>(根拠法令)</p> <p>[復活理由] カウンターでの貸出返却作業で、パソコンはフル活動している。5年を過ぎると、フリーズが頻発し、業務に多大な支障が発生するため、5年ごとの更新が必要である。</p>	<p>平成26年度～31年度の債務負担行為として 29,797千円の要求</p> <p>1年分では(リース料率1.80%試算) 9-5-6-2-14-40 電算機リース料 6,015千円 月額リース料 ¥ 459,822 × 12月 × 1.08 = 5,959,293 5年間では ¥ 29,796,465 29,797千円 (リース料の消費税は、契約時の税率を契約終了まで適用)</p> <p>(参考) 上記リース料とは別に、システム保守委託料が必要 9-5-6-2-13-41 システム保守委託料 5年分 11,988千円</p> <p>1年分 月額保守174,460 × 12 + 年額保守90,000 = 2,183,520 1年目9% 2,380,036 2年目～10% 2,401,872 × 4年間 = 9,607,488 5年分では11,987,524</p>